

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

7月上旬、企画に参加した「新名所・三島スカイウォーク・沼津深海水族館・戸田温泉」に参加。企画メンバーがガイドとの提案で初めてガイド役に。顔

なじみの参加者の温かい笑顔が救いだ。出発日は七夕。第一声は、七夕の話題でスタート。普段スラスラと思いつく内容が、なかなか出てこない。重き痴ほう症状に苦笑いだ。七夕と言えば、天の川を挟んで夜空に輝く「織姫」と「彦星」が年に一度だけ会うことが許された有名な話だ。中国から伝わった話だが、中国では身分違いの恋の話だ。この星伝説、農業が本格的になる時期、星のよく見える夜に「七夕」を行うようになったのは天文的な理由が原由。7月を「文

月」と呼ぶ理由は、七夕行事で、短冊に願いの事の「文(ふみ)」を書く事が由来だとガイドする事ができた。訪れた新名所「三島スカイウォーク」、全長400m、歩行者専用道路としては、日本

「一の伝説で、集客に「吊り橋」をこの話がある。心理学的に、吊り橋のような高くて揺れる場所では、その恐ろしさゆえ、興奮してしまい、それを頭が勝手に恋によるものと勘違いしてしまう効

製鉄・製鋼・造船・石炭産業」としてユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録された葦山反射炉を訪れる。日本で唯一現存する実用反射炉だ。歴史を知るために訪れたのが、重要文化財に指定された

江川邸の見学者は、半減との寂しい声も聞かえ、歴史建造物に相応しくない案内看板。反射炉付近は、大規模な整備工事。地域活性化の取り組みは、結果次

第では負の財産にもなりうる危険がある事を改めて感じた研修の旅でもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

地域活性化に取り組んでいる地域を訪ねる事で私達の地域課題を考えてみませんか



ボランティアの松倉さん。地域の良さを伝えたいとの思いが旅を一層楽しいものにしてくれる